

公開講座

全5回

# 外国につながる 子どもの教育を考える



多文化化が進む日本社会において、外国につながる子どもたちの教育をどのように支えるかを考える全5回の公開講座です。研究と実践の両面から、具体的な事例や課題を交えて学びます。

上智大学  
SOPHIA UNIVERSITY

早稲田大学

対面 (Zoomでの同  
時配信あり)

第1回

5/27 (水)

19:15~20:30

## グローバル化と日本の学校

宮崎 幸江 上智大学短期大学部教授



第2回

6/17 (水)

19:15~20:30

## 「移動する時代」と日本語支援

川上 郁雄 早稲田大学名誉教授



第3回

10/21 (水)

19:15~20:30

## 海外の日本語教育とことば・文化の仲介(メ ディエーション)

福島 青史 早稲田大学 教授



第4回

11/14 (土)  
時間未定

## マルチリンガルのこどもを育てる

ピニロス・マツダ・テレク・ケンジ 明治大学 准教授



第5回

12/16 (水)

19:15~20:30

## 何が移民の子どもの進学を阻むのか

稲葉 奈々子 上智大学 教授



- 対象 学生・一般(関心のある方)
- 参加費 無料
- 会場 上智大学四谷キャンパス 6号館 410教室 (第1、2回)
- 主催 上智大学・早稲田大学

お申込はこちらから→  
対面(配信あり)<https://forms.gle/wsJzSvLmjSEMhEPD8>



## 外国につながる子どもの教育を考える

## (講座概要)

第1回  
5/27  
(水)グローバル化と  
日本の学校宮崎 幸江  
上智大学短期大学部 教授

ソフィアにほんごプロジェクトの前身は1980年代に神奈川県秦野市で始まった外国人支援です。約40年を経て、全国の学校で外国につながる子どもたちの存在が身近になって来ました。学校現場で今何が起きているのかを、日本で育った外国につながる若者の体験談から考えます。

第2回  
6/17  
(水)「移動する時代」と  
日本語支援川上 郁雄  
早稲田大学名誉教授

「移動する時代」と呼ばれる現代、多くの子どもたちが国境を越えて移動しています。その子どもたちへの日本語支援はどのように進めたらよいのでしょうか。支援のキーワードは「ことばの生活」「成長・発達」「心」です。「JSLバンドスケール」をもとに子どもの具体的な姿を例示し、日本語支援のあり方を受講者とともに考えたいと思います。さらに、日本語支援が子どもたちにとってどのような意味があるのか、「移動する子ども」学の視点から考察します。

第3回  
10/21  
(水)海外の日本語教育と  
ことば・文化の仲介  
(メディエーション)福島 青史  
早稲田大学 教授

外国につながる子どもは、複数の言語や文化の中で生活しています。本講義では、CEFR-CVで提唱された仲介活動(メディエーション)に注目し、異なる言語・文化をつなぎ、新たな意味や価値を生み出す力について考えます。また、日本語教師に求められる仲介能力にも触れ、JICA海外協力隊や国際交流基金の海外派遣事業の事例を通して、海外の日本語教育と外国につながる子どもの教育の接点を探ります

第4回  
11/14  
(土)マルチリンガルの  
こどもを育てるピニロス・マツダ・デレク・ケンジ  
明治大学 准教授

講義では、複数の言語環境で育つ子どもたちの発達や学びの特徴について考えます。家庭や学校における言語選択や支援のあり方に着目し、言語の習得だけでなく、アイデンティティや自己理解との関係についても検討します。また、日常生活の中で実践できる関わり方のヒントを共有し、子どもたちの多様な可能性を引き出す視点を提示します。

第5回  
12/16  
(水)何が移民の子どもの  
進学を阻むのか稲葉 奈々子  
上智大学 教授

「学校は社会的な不平等を再生産する場である。」フランスの社会学者ブルデューは、このように述べています。勉強すれば、誰にでも大学進学への扉が開かれるのではなかったのでしょうか。この講義では、移民の子どもたちが、大学進学するにあたって、努力だけでは乗り越えられない制度的障壁がどこにあるのかを検討し、子どもたちが、それをどのように乗り越えていったのか、実例を交えて考えていきます。

対象 学生・一般

会場 上智大学・四谷キャンパス6号館 410

参加費無料

(第1・2回)

お申込はこちらから➡  
対面(配信あり)<https://forms.gle/wsJzSvLmjSEMhEPD8>